

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06205
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学 生命環境学部	開講場所 (キャンパス・施設)	広島キャンパス
2. 科目名	我々の生活を支える生命科学		
	学問分野	番 号	33 名 称 農学
3. 担当教員	阪口利文 生命科学科 准教授 斉藤靖和 生命科学科 准教授 田井章博 生命科学科 教授		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 27 年 7 月 25 日 (土) 9 時 40 分 ~ 10 時 30 分 (阪口) 10 時 40 分 ~ 11 時 30 分 (斉藤) 11 時 40 分 ~ 12 時 30 分 (田井)		
5. 募集定員	50 人程度		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>生命科学科では、生命体の分子・細胞レベルから個体レベルまで総合的な教育を行い、食料、健康、医療などの問題解決につながる研究を通じて様々な角度から教育・研究をしています。この公開講座では、生命科学科に関心のある高校生のみなさんに対して、学科の教育・研究の内容を紹介するため、専門分野の教員が、どのような研究に取り組んでいるのかをわかりやすくお話しします。「我々の生活を支える生命科学」と題して、我々の生活（食料、健康、医療）にとってきわめて重要な役割を果たしている微生物や特殊な機能を持った分子の働きを紹介します。</p> <p>1. 阪口 利文「微生物の力 - 食糧から資源まで -」 微生物は目には見えない小さな存在ですが、実は多くの物質循環・変換・合成に関与する偉大な貢献者です。そんな実例を色々な研究事例から紹介したく思います。パン作りの酵母からレアエレメントの回収や変換に用いられる深海・深湖底微生物など、様々な微生物の素性と機能・利用についてお話ししたく思います。</p> <p>2. 斉藤 靖和「活性酸素に着目した化粧品、抗老化研究」 活性酸素は紫外線などの外部刺激だけでなく我々の体内でも自然に発生しており、核酸、タンパク質、脂質などを酸化することで様々な病気や老化に関わるストレス分子です。本講座では、活性酸素の制御に着目した化粧品開発や抗老化研究などについて紹介します。</p> <p>3. 田井 章博「ビタミンCやその誘導体のがん治療への利用」 我が国における死因の第1位は、『がん』です。ビタミンCは抗腫瘍作用を持ち、高濃度ビタミンC点滴療法はがんの治療法のひとつとして広まりつつあります。本講座では、高濃度ビタミンC点滴療法について解説し、さらに抗腫瘍作用を示すビタミンC誘導体の開発についても紹介します。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 特になし		
9. 開講条件※1 <input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> ない	① 最少開講人数 (10 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ----- ② 不許可・不開講通知日 6月末		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 本講座は、広島キャンパスで開催します。		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。